

進学 1 年 6 か月課程の授業科目とその内容

科目名	内容
日本語 コミュニケーション	「こんなときどんな会話をすればいいのか？」本科目ではいろいろな場面について、ふさわしい会話内容をクラスで考えていく。学校生活、アルバイト、その他の生活場面で自分の欲求を満たす状況、から「誘いを断る」、「苦情を言う」等、相手への配慮が必要となる状況までを題材とし、その場に合った日本語を考える。「聞く・話す」の能力だけでなく、社会言語としての適切さや、発音、発言権の取得などコミュニケーションに必要な要素を総合的に学ぶ。
介護 コミュニケーション	介護の現場で使える日本語を学ぶ。「車いす移動」や「食事」、「入浴」、「認知症の人への対応」まで、各場面に応じた日本語を学び、介護の仕事をするときに、指示がわかり、報告ができるようになる。
読解	パンフレットやメール、ホームページを読むことを通して、日本での日常生活で出会う文字情報を理解できるようになる。また、日本文化に関する文章や、昔話を読んで、日本についての理解を深め、より豊かな生活を送ることができるようになる。
中長文読解	日本文化、あるいは異文化間の文化の比較といったことをテーマとした少し長い説明文や記事を読めるようになる。また、その中で語彙を増やし、「書く」活動にも活かすことができるようになる。
アカデミック ジャパニーズ	主に日本文化についての講義やプレゼンテーションを聴いて、内容を理解し、そのテーマを題材に友達とディスカッションをする。将来、大学や専門学校の授業を受けるために必要な語彙力、聴解力、そして、メモやノートの取り方を学習する。
文章表現	初級では自分の好きなことや、身の周りのことを作文できるようになる。また、上級では日本の社会問題の解決方法について自分の意見が書けるように繰り返し練習する。
日本語スピーチ	たくさんの人の前で、あるテーマに基づいて自分自身のことや、意見について発表できるよう何度も練習する。
文法・表現	外国人にとっては少し難しい日本語の文法を学び、日常生活で使いこなせるようになる。
漢字・語彙	合計 1,026 字の漢字と、それを使った 2,200 の言葉を読んだり、書いたりできるようになる。また、日常生活の各場面でそれらの漢字がどのように使われているか学習する。
日本事情	日本人の生活や日本の法律、政治経済に至るまで、日本文化についての記事を幅広く読み、日本についての理解を深める。また、母国との比較などをクラスで話し合う。
福祉交流体験	福祉施設を訪問し、施設のスタッフや利用者の方々の前で演劇あるいはスピーチ等を実演する。本校の体験授業は 3 分野に分かれる。3 分野の特性を活かし、日本文化を理解し、異文化の人々と触れることにより、多文化共生社会に生きる人材としての資質を養うことができる。

異文化交流体験	日本人に限らず、同世代の日本在住者を講師として招き、その方の日本での貴重な体験や、覚えておくと便利な情報について、意見交換を行う。また、いっしょに料理を作るなど協働作業を行い、異文化の人たちと日本語でコミュニケーションをとる体験をする。
特別授業	「ホスピタリティとは何か？」を考える。介護業界で活躍する方を講師として招き、講義を聞きながら、将来日本で仕事をするために必要なことをクラス全体で学ぶ。
日本文化体験	日本の名所観光や、季節のイベントを体験し、日本の文化について学ぶ。
進学	大学、短期大学、専門学校に進学するために必要な情報を学び、進学ガイダンスに参加する。